

令和2年度教育事業 ネイチャーアートフェスタ  
—子供の文化体験普及啓発事業—  
「アート“夢”プロジェクト」

1. 目的

子供の文化体験活動の普及を図り、アートに触れる機会とする。

2. ねらい

- ①森とSDGsをテーマに、自然の素材でアートにふれる体験活動を行う。
- ②身近な自然に目を向けるきっかけの場とし、家族と共に感性を育む機会とする。
- ③曾爾高原の秋の自然に触れ、自然環境を大切にすることを意識を育む。

3. 実施日

令和2年11月14日（土）

4. 対象者

小学生を含む家族・グループ

5. 参加者 / 募集定員

49名（13グループ） / 50名

6. 共催

カシオ計算機株式会社

7. プログラム（要約）

曾爾高原にある自然環境を活かしたアートとして、石花ちとく講師による「日本のロックバランシング—石花」と園田純寛講師「苔のテラリウム」を実施した。どちらの素材も自然素材であり、曾爾村にあるものである。

簡単にできそうだけど、難しい。製作者の想い入れが、作品に反映されていく。アートにあまりなじみがない参加者にも、身近にアートを楽しめる機会となった。

①日本のロックバランシング—石花

講師より、石の選び方、積み方について説明。それぞれで好きな石を選び、ステージ（丸太）の上に積んでみる。



1つから2つまでは、うまく進んでいけるが、3つ目の組み合わせがとても難しい。

また、「背景をうまく活かしながら愛でてくださいね」の講師アドバイスに一同納得。思い思いの石花を咲かせていた。

（※講師は、この石積みを「花」を生けるように、石を積むとの願いを持って、「石花」と名付けている）



②苔のテラリウム

講師より、作り方について説明。自然の家には、苔が自生しており、それを活かしたテラリウムを作ろうと、採集から始めることにした。講師も初めてチャレンジした取組だったが、小さな子どもにとっても好評で、苔との良いふれあいの機会となった。

ガラスのビンの中かに小さな世界をつくるアート体験は、小さな子どもたちには難しい内容となったかもしれないが、一緒に取り組んだ保護者もびっくりするほど、集中していたようである。



### <スケジュール>

主なスケジュール	
午前	はじまりの会 午前の部： Aグループ 石花 Bグループ 苔のテラリウム
午後	(昼食) 午後の部： Aグループ 苔のテラリウム Bグループ 石花 おわりの会

どちらのプログラムも、はじめは「子どもが主役だから」と遠巻きに見ていた大人も、いつの間にか夢中になって取り組んだ。午前午後で入れ替えし、両方のプログラムを体験できるようにした。

### <参加者の声>

- ・苔にいろいろな種類があること、作っていくときれいになっていくのが楽しかった。
- ・ふだん体験できないことをできて、とても面白かったです。
- ・達成感がすごかった。



### 8. まとめ

曾爾ではアートをテーマとしたはじめての取組となった。講師の自然へのまなざし、優しい人柄もあいまって、アンケートの評価も良く、満足度の高い事業となった。好天もあいまって、参加者が穏やかな気持ちで、かつ真剣に作品に向き合っていたことが印象的であった。

(企画指導専門職 高瀬 宏樹)